

美里町



馬上蛸崎神社と後藤黒



仙台城の有名な騎馬像。政宗公の跨る馬に関する
言い伝えがあります。美里町内^{ふどうどう}不動堂の地を治めた
仙台藩宿老の後藤家。その初代に^{まごべえのぶやす}孫兵衛信康という
武将がいました。^{のぶやす}信康は、百姓の^{しんぞう}新蔵が飼う黒毛の
馬があまりに素晴らしいので、主君政宗公に献上し
ました。政宗公はたいそう喜ばれ、「^{ごとうぐろ}後藤黒」とい
う名を付けて、たいへん可愛がりました。

後藤黒は政宗公とともに戦場を駆け巡り、連戦連勝の功を上げましたが、年
老いてしまい、大阪の陣には連れていってもらえませんでした。残された後藤
黒は深く悲しみ、仙台城の崖から身を投げて死んでしまいました。大阪から戻
った政宗公は、その死を^{いた}悼み、落ちた^{かきざき}蛎崎の地に^{まつ}祀ってその霊を慰めました。

明治初期に、信康と新蔵の子孫がその^{みたま}御霊を分けて持ち帰り、不動堂にもお
社を建立しました。今なお「^{ばじょうかきざきじんじゃ}馬上蛎崎神社」として大切に祀られています。